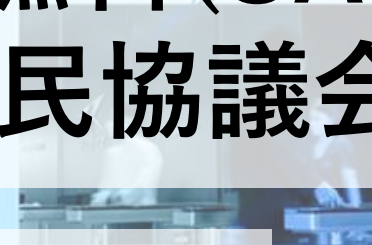
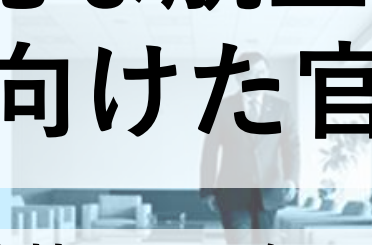




第3回 持続可能な航空燃料(SAF)の 導入促進に向けた官民協議会



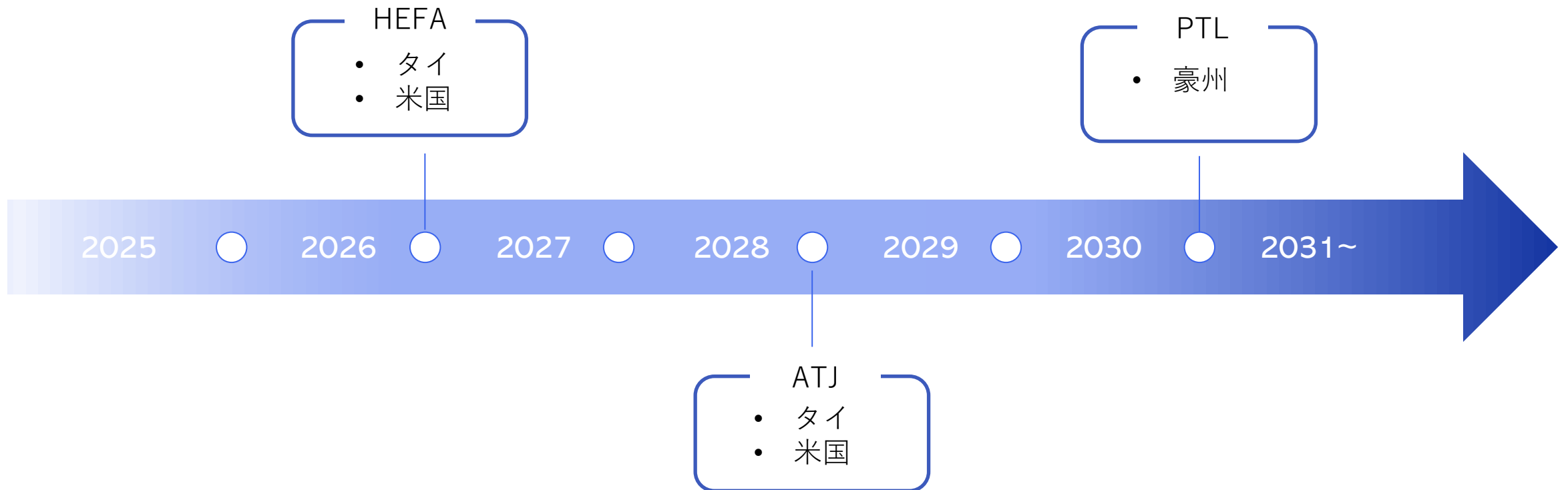
双日株式会社 2023年5月26日



アジェンダ

1. 当社のSAF事業の取り組み方針
2. SAF取り組み紹介

- 営業本部横断で、当社の独自性を活かしSAF事業の創造に取組中。
- 商業化実績のあるHEFA法でタイ、米国の2地域での製造事業を推進し、CORSlAが求めるGHG削減もしくはオフセットにより市場から期待されるSAF供給に対応。
- Alcohol to Jet(ATJ)及びPower to Liquid(PTL)でのSAF製造の可能性も調査することで、2030年以降の中長期での持続的な供給体制確立を目指す。



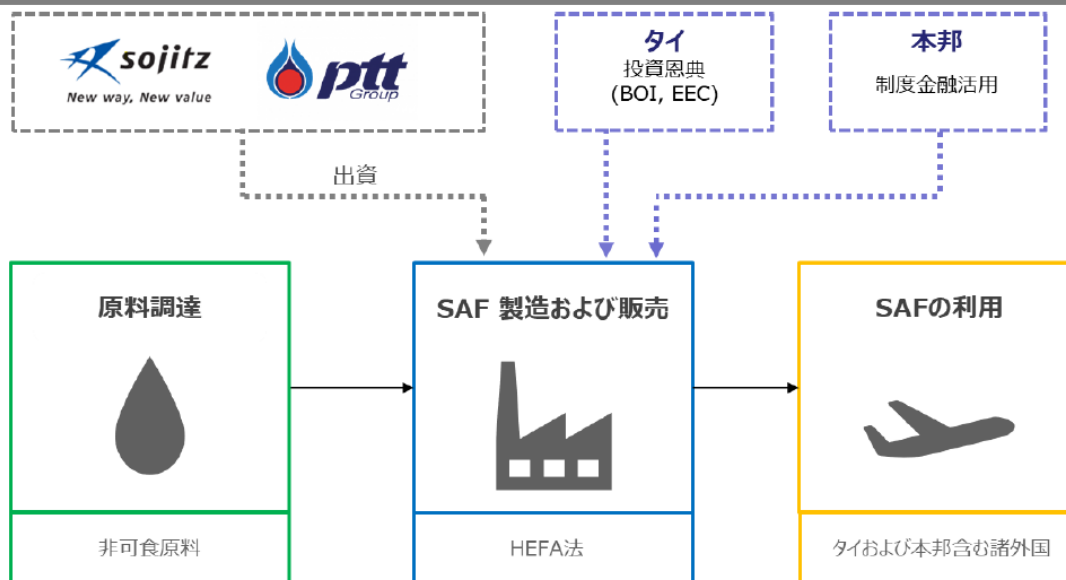
- タイ最大手石油精製メーカーであるPTTグループと商業運転の実績あるHEFA法でのSAF製造を推進する。
- 日タイ両国におけるSAF安定供給に貢献すること、脱炭素化に向けた二国間連携促進を企図する。

非可食原料由来バイオジェット燃料製造事業検討に関する覚書



- MOU/企業提携の概要**：航空産業におけるカーボンニュートラル実現に向けPTTグループ(タイ)および双日株式会社(日本)は、タイでのHEFA法SAF製造事業の検討を推進するもの。
- 本事業の意義・狙い**：①各社の強みを活かした競争力のあるSAF製造を実現する。②非可食原料を利用したSAF製造で相当量の温暖化ガス削減する。③アジアにおけるSAFの安定供給を実現する。

〈スキームおよび案件イメージ〉



1

- 合成燃料製造の適地と考えられる豪QLD州にて、合成燃料由来のSAF(e-fuel SAF)の事業化を検討中。
- 日豪企業連携でSAFを製造、安定供給し国際航空セクター、及び、日豪両国の脱炭素化に貢献する。



豪州クィーンズランドでのe-fuel/SAF バリューチェーン構築検討に関する覚書

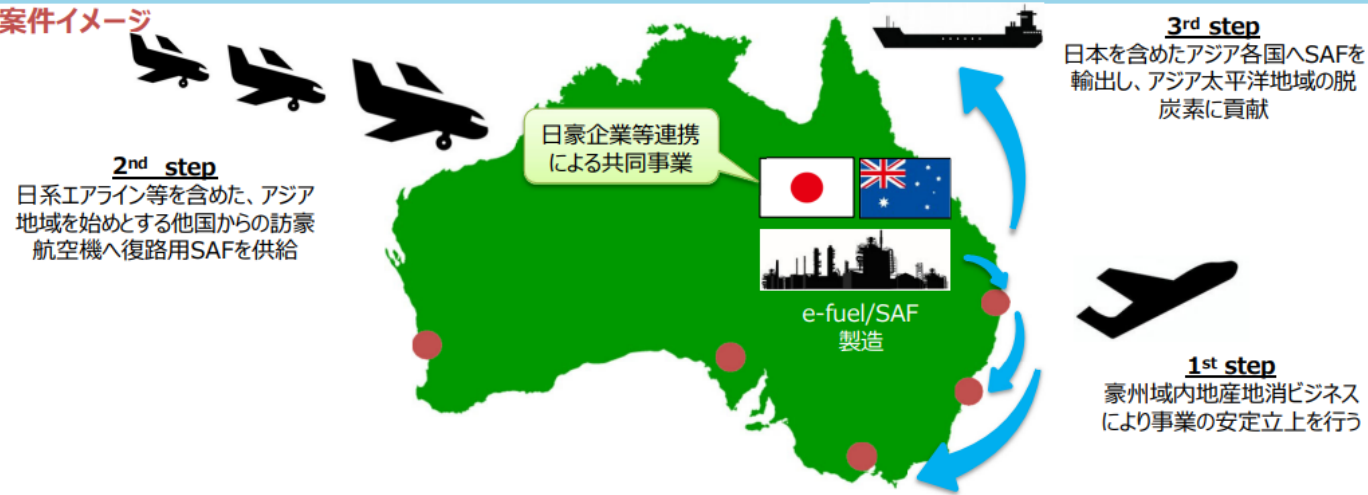
● MOU/企業提携の概要：

航空産業におけるカーボンニュートラル実現およびアジア太平洋地域の脱炭素に貢献する為、CS Energy (豪、クィーンズランド州政府公社)、東洋エンジニアリング株式会社 (日)、および、双日株式会社 (日) の3社が、豪州クィーンズランドでのe-fuel/SAFバリューチェーン構築に関する検討を合意するもの。

● 本協力の意義・狙い：

- ① グリーン水素および二酸化炭素を原料とする合成燃料(e-fuel/SAF)製造を実現する。
- ② グリーン水素生産適地とされる豪州クィーンズランドで競争力のあるe-fuel/SAFバリューチェーン確立を目指す。
- ③ e-fuel/SAFの安定供給を通してアジア・太平洋地域における脱炭素に貢献する。

案件イメージ



- ・ 本邦企業が出資参画する海外SAF製造事業のCAPEXへの補助・支援。
- ・ 本邦SAF使用企業へのSAF利用に対する補助・支援。
- ・ SAF価格の安定化・競争力維持を目的とした化石ジェット燃料との値差に対する支援。
- ・ 副生するバイオナフサの利用に対する制度設計。（マスバランスを広めるための制度設計）

(ご参考) 当社の航空業界の脱炭素化に貢献する取り組み

米国・Universal Hydrogen社への出資を通じ、航空機用水素燃料事業へ参画
(2021年4月)



米BETA Technologiesと日本国内における次世代エアモビリティ (AAM) 市場の構築を目指す～ eVTOL最大級の航続距離と積載重量を有するALIA-250を開発～ (2022年9月)



脱炭素社会の実現に向けてZIPAIRにカーボンクレジットを供給(2023年2月)



ボーイング社と航空分野でのサステナビリティの実現と次世代エアモビリティの推進に関する覚書を締結
～ 2050年カーボンニュートラルに向けたパートナーシップを構築～
(2022年8月)



ビジネスジェット事業において国産SAFを使用した初の国際線フライトを実施
(2022年10月)



New way, New value